

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和5年度分）

施設名	りんりんスクエア土浦
施設所管課	スポーツ推進課
指定管理者	株式会社アトレ
指定期間	H30.3.29～R10.3.31（10年間）

1 施設の概要

施設所在地	土浦市有明町 1-30（プレイアトレ土浦内）
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・名称：りんりんスクエア土浦 ・所在地：土浦市有明町 1-30（プレイアトレ土浦内） ・施設内容： <ul style="list-style-type: none"> 1F(581.3㎡)：レンタサイクルスペース，自転車販売スペース，修理・組立スペース，情報発信スペース，交流スペース B1(377.8㎡)：シャワー（男女各3室），コインロッカー（68台），レンタサイクル（86台） ・事業費：317,000千円（県・市 1/2，地方創生拠点整備交付金 1/2）
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スクエアの供用日及び供用時間の臨時の変更に関する業務 ・スクエアの利用の制限等に関する業務 ・サービス提供区画の利用の承認に関する業務 ・サービス提供区画の利用の承認の取消し等に関する業務 ・特別利用者の住所等の変更等の届出の受理に関する業務 ・スクエアの維持管理に関する業務

2 職員の状況

常勤職員：	5人	非常勤職員：	0人	合計：	5人
-------	----	--------	----	-----	----

3 収支状況

令和5年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料		人件費（給与等）	12,590,970
利用料収入	12,472,076	光熱水費	5,182,732
その他（利息・ル・サイク売上等）	65,993,776	租税公課等	4,620,000
		自主事業費	56,046,328
		その他（事務費・修繕費等）	9,034,694
収入合計	78,465,852	支出合計	87,474,724

4 利用状況

	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
①年間利用日数（日）	365	365	310
②年間利用者数（人）	10,236	11,175	10,620
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	12,472,076	12,395,381	10,424,255

5 サービス向上に向けた取組み

令和5年度は、新型コロナウイルスの第5類化に伴い、社会全体での旅行需要の高まりに合わせてプロモーション等も展開し、集客に努めました。一方でコロナ禍の密を回避できるアクティビティとして好調だったサイクリングは、コロナ禍で忌避されてきたコンテンツの復調との兼ね合いもあり、業界全体でダウントレンドとなっています。

サイクリングシーズンである、春と秋に大型イベントを開催し、話題喚起・来街促進を図りました。そのほかにも小規模ライドイベントを継続するなど、あらゆるサイクリングシーンをお楽しみいただける機会を提供して参りました。

10月～12月にかけて開催された茨城DCにおいては、プレイアトレ土浦全体でも最大限のPRと集客に努め、令和3年度の茨城重販から継続してイベントの企画、運営を行い「自転車の街、土浦」としてのブランディング醸成に寄与いたしました。

サイクリングイベントでは、2年連続の開催となる「いばらきK1ライド」を開催しました。これまで、お客様からご要望が多かった霞ヶ浦一周を楽しめるファンライドとして、令和5年度からはつくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会に加盟している14市町村にもエイドステーションの運営に協力いただくなど、地域一体となりつくば霞ヶ浦りんりんロードを代表するライドイベントとして成長させ、大変満足度の高い企画となりました。

そのほか、「BIKE&CAMP」を2年連続で開催しました。前年同様に土浦駅からのアクセスの利便性を考慮して霞ヶ浦総合公園としましたが、両日ともに天候に恵まれず2日間で1,350名のお客さまのご来場となりました。県外からのリピーターや初参加のお客様も多く、来街促進にもつなげることができました。霞ヶ浦湖畔でのキャンプという非日常を感じることができる企画のため、引き続き次回開催を希望するお客様が非常に多くいらっしゃいました。

春には、今回で4回目となった「土浦レイクサイドバイクロア4」を開催しました。年々地域事業者との連携体制や新たなコンテンツも増え、サイクリストだけでなく地域の方々にもお楽しみいただけるイベントに育ってきました。特に今回については過去最多のアクティビティを用意したこともあり、県内外から2日間合計で約7,200名の方にご来場いただきました。また、本イベントについては参加者のボリューム層が30代～40代が一番多く、次いで10代と、通常のサイクリングイベントのボリューム層である50代～60代以外の世代へもアプローチすることができています。

引き続き、りんりんスクエア土浦を起点に周辺のサイクリングをお楽しみいただけるよう、館内サービスの拡充やエリアを巻き込んだイベントの企画を行い、エリア一体でのサイクルツーリズムの促進を図って参ります。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

- ・各イベント参加者へのヒアリング

○調査結果

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・お店が広く開放感があり、入りやすく雰囲気がいい
- ・駅の施設で自転車できて中まで入れるのはすごい
- ・周辺のスポットの情報や乗り方を教えてもらい、いつもお世話になっています

【悪い点】

本年度はりりんスクエア土浦に関する悪いご意見を特段いただきませんでした。

【要望】

- ・グルメ系のライドイベントがあればまたぜひ参加したい
- ・定期的なイベントの実施を期待します

○対応状況

・イベント開催時にアンケートや属性把握をして、各種ターゲットに合わせた企画を展開している。
子ども向けの自転車イベントなども企画をしていく。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	法令に合わせて適切に保守している。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	常駐の清掃スタッフによる清掃を日々実施している。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	発見次第、迅速に対応している。 ※令和5年度は修繕実績なし	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	契約書に基づいた運営をしている。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	適切に対応している。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	行政・JR 東日本・地域事業者と連携をして、地域の魅力を活かした企画の実行を継続している。	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	イベントやアンケート等でお客様の生のお声を収集し、企画へ反映している。	A	A
運営体制	職員は適切に配置されているか。	適正人員での運営を継続している。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	都度、情報交換や要望の提言を行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	施設全体での緊急連絡体制を整備し、緊急事態に備えている。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	情報交換等を定期的に行っている。	A	A
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	達成している。	B	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	適当水準である。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	収入増・コストダウンに取り組み収支改善を図っている。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	毎年コストダウン項目ができる内容がないか棚卸をし、削減できる場合は取り組んでいる。	B	B
<p>【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価 管理状況については、土浦駅ビルの統括管理者として、駅ビル全体と同様に、りんりんスクエア土浦の施設管理全般、危機管理対応を適切に行っている。</p> <p>また、施設運営の面ではりんりんスクエア土浦を核としたサイクリングの街としての定着に向けて、2年連続でサイクリングイベント「いばらきK1ライド」を開催するなど地域を巻き込んだサイクルツーリズムに積極的に取り組んでいる。加えて、本県が進めた台湾「大東北角観光圏」との観光友好協定後も、関係事業者と連携したプロモーション等の貢献をしており、指定管理者として指定管理業務以上の成果を残しているものと評価できる。</p>				

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
 ・総合評価欄については、所管課が記入する。
 ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの